

【学校スローガン】「挑戦」は成長への第一歩 生徒が主体的に成長できる学校づくり

Ⅰ 目指す学校（島の宝が世界へはばたく）

教育目標	努力	高い目標を持ち、自らを律し、弛まぬ努力のできる人間を育成する。
	信頼	他者を思いやり、慈しむ人間愛の精神を持ち、社会から信頼される人間を育成する。
	継続	英知と創意工夫により努力を継続かつ発展させ、信頼を高め、豊かな未来を開拓していくことのできる人間を育成する。
スクールミッション	「努力、信頼、継続」を教育目標とし、地域と連携した郷土理解教育や地域貢献、個に応じた学習支援、3年間を見通した系統的な進路指導、火山学習等の防災安全教育といった教育活動を通じて、郷土愛を高め、課題を見出し、他者と協働して解決へと導いていく人材を育成する。	
スクールポリシー		
グラデュエーション・ポリシー	<p>「郷土を愛し、課題と向き合い、他者と協働して、解決へと導いていく人」の育成を目指し、以下の資質・能力を醸成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「郷土理解」：郷土の実態について理解し、島を離れてもなお、郷土を想うことができる感性。 ○「コミュニケーション力」：他者と意思疎通をし、目的達成に向かって協働することができる力。 ○「規範意識」：自分が置かれている状況を理解し、ルールを遵守しながら集団の結束力向上に寄与できる力。 ○「自己肯定力」：自己の長所・短所を理解しながら、課題解決にむけて自己の能力を発揮し、自信をもてる力。 ○「自主自立」：選択を他者に依存せずに、自分の力で判断して決断実行していく力。 	
カリキュラム・ポリシー	<p>生徒一人一人の希望進路の実現を図る教育課程を編成し、あらゆる進路に対応した教育活動を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導・補習・講習・個別指導の充実を図り、生徒自らが積極的に学ぶ姿勢を育てる。 ○探究的な教育活動を充実させ、基礎学力の定着、大学進学希望者の学力向上を目指す。 ○学校行事・部活動を通して、自己の能力を最大限に発揮できる力を身に付けさせる。 ○三宅村との連携を強化し、体験的な活動を実践する。 ○特別支援教育の推進・充実を図るとともに支援を必要とする生徒の実態に応じた指導を行い、将来の社会自立や社会参加を目指す。 	
アドミッション・ポリシー	<p>三宅島を愛し、島の自然・歴史・文化・産業に関する理解を深め、振興・発展に貢献する意欲のある生徒、本校のきめ細かな少人数教育を利点として活用したいと考える生徒、学校行事や部活動に積極的に取り組み、協調性や忍耐力を育もうとする生徒を求める。</p> <p>【普通科】広い視野をもたせ、進学や就職に対応できる学力を身に付けさせる指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら進んで学習に取り組み、大学進学等の希望進路実現に向けて、努力する生徒。 【併合科】農業科又は家政科の専門科目を中心に学び、より豊かな生活のために、積極的に取り組む姿勢を身に付けさせる学習を行う。 ○草花・野菜の栽培や食品製造など農業に関する技術や知識の習得に意欲のある生徒。（農業科） ○衣服のデザインや製作、調理や保育など生活に関する技術や知識の習得に意欲のある生徒。（家政科） ○実習で技術や知識を養い、進学や就職などの目標に向かって努力できる生徒。 	

2 中期的目標とその達成に向けた方策

三宅島の特性を活かした教育活動をとおして、生徒が多くのことに挑戦し、本校78年の伝統をさらに発展させ、生徒が自信をもって社会に出て、活躍、貢献できる人材となるように育成する。

目標	①	高い目標を掲げ、チャレンジする力や実行力を育成する。	
	②	基礎学力を高めるとともに、希望進路実現「入れるところ」ではなく、「入りたいところ」の選択ができるように計画的な進路指導を実践する。	
	③	基本的な生活習慣を確立し、礼儀と規律を尊重し、命の大切さを感じる態度を育成し、体力向上と健康増進、自尊感情の向上を図る。	
	④	防災教育、安全教育を推進し、生徒が安全・安心な学校生活を送ることができる環境を作り出す。	
	⑤	島内唯一の高校として、保・小・中・高連携事業、地域に根差した開かれた学校づくりを推進し、島の宝を育成する。	
その方策	①	普通教科、専門教科の授業の充実を図り、生徒に興味や関心を高めさせる。	学習指導
	②	習熟度別授業や少人数授業を実施して、基礎・基本の定着を図るとともに、外部教育プログラムを活用して、家庭学習を習慣化させる。	学習指導
	③	教育のDX化を推進し、学習指導の質の向上、学力の向上を図る。	学習指導
	④	HR、総合的な探究の時間、進路行事等をとおして、職業や自己の適性を考えさせ、3年間を見通した進路計画を行い、生徒の進路希望実現を図る。	学習指導 進路指導
	⑤	資格取得の奨励を図るため、在学中に実用英語技能検定、農業技術検定、被服製作・食物調理技術検定等を受験し、いずれかの取得を目指す。	学習指導 進路指導
	⑥	専門学科(農業・家政)においては、JGAP、都GAP、HACCPなどの認証制度に関する教育を推進し、専門教科の充実を図る。	学習指導 進路指導
	⑦	時間を守る・あいさつをする・約束を守る等基本的なマナーや規範意識を確立させる。対人関係を確立するためのスキルを身に付ける。	生活指導
	⑧	情報モラル、火山ガス対策、災害対策、不審者対策等の防災訓練、いじめの未然防止、いじめの早期発見等において、迅速に組織対応できる体制を作る。	生活指導 安全教育
	⑨	生徒がいつでも相談できる体制、特別な支援を要する生徒の対応を図るため、スクールカウンセラーによる面談、SOSの出し方に関する講演会、特別支援委員会の活用をとおして、生徒の変化を迅速に把握し、共有を徹底する。	生活指導 安全教育
	⑩	学校運営連絡協議会の学校評価を活用した学校改善や島の特色を活かした教育活動の実践。	学校経営
	⑪	学校開放、公開講座を積極的な開講、図書的一般貸出等開かれた学校づくりを実践する。	学校経営 地域連携
	⑫	農業科、家政科の生産品を島内外のイベントで販売し、積極的なPR活動を行っていく。	学校経営 地域支援
	⑬	ホームページやX等を活用し、本校のリアルタイムな情報を発信し、生徒の募集活動や広報活動に寄与する。	学校経営 広報活動
	⑭	経営企画室との連携を高め、都民目線による計画的・効果的な予算編成・管理・執行を行う。	学校経営
	⑮	人材育成・OJTの推進を図るとともに、教職員のライフワークバランス、働き方改革の推進を図る。	学校経営

3 今年度の重点目標とその達成に向けた方策

重点目標	①	組織的・計画的な進路指導を行い、生徒の希望する進路を実現させる。
	②	基礎・基本の確実な定着と学力の向上を図る。
	③	本校の教育活動を島内外に広くPRし、積極的な広報活動を行う。
	④	三宅島の特色を活かした探究活動の充実を図る。
	⑤	生活指導、健康教育の充実を図る。
	⑥	自ら学ぶ姿勢、探究心をもち、ワンランク上の資格取得を目指す。
	⑦	三宅村保小中高一貫教育の推進を図る。
	⑧	避難訓練・防災訓練等とおした防災安全教育の推進。
	⑨	いじめ・体罰・自殺、不適切指導の未然防止を図る。
	⑩	国際交流、国際理解教育を推進し、グローバルな人材育成を図る。
	⑪	特別支援教育、インクルーシブな教育の推進及び教育相談の充実を図る。
	⑫	安定した学校経営・組織体制を構築する。
方策	①	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した進路計画の立案・提示し、進路決定満足度100%を目指す。 ・島内企業経営者を招いた進路説明会を実施し島内就職を推進させる。 ・各学期末に基礎学力テストや外部模試の結果分析会を行い、教員の指導力向上を図る。 ・1年生移動教室（インターンシップ）の実施し、進路意識を高めさせる。 ・生徒一人一人の進路を実現させるため、夏期講習、放課後の補習、講習（大学受験同好会）等の個別指導を実施する。 ・保護者対象の進路講演会を実施する。 ・生徒の進路第一志望を実現させるため、学習指導・礼節指導等を徹底する。 ・進路に関する公文書（調査書・推薦書）を発行する際、複数確認・点検を行い、事故を起こさない。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムポリシーに基づき、確かな学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力）を育成する。 ・考えさせる授業、「納得解」を導びだす主体的・対話的で深い学びの実践を図る。 ・「わかる授業」「学びたくなる授業」を実践するため、教員の授業力向上を図る。 ・課題、外部教育プログラム（スタディサプリ）等を活用して、自学自習を習慣化させる。 ・GAP、HACCP教育における工程管理学習の充実を図る。 ・きれいな教室、農場、特別教室（被服・調理室含む）等を心掛け、学習環境の場を整える。 ・主体的な研究、発表等を取り組ませ、学校農業クラブ、学校家庭クラブの充実を図る。 ・作文コンクールや農業クラブ意見発表などの取組を通して、生徒の読解力と言語能力の向上を図る。 ・教育のDX化を推進し、すべての授業において、一人一台端末を活用した授業を行う。 ・生徒の放課後学習及び家庭学習の充実に重点的に取り組ませる。
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・併合科の専門教育内容の理解を深めるため、島内の各種イベントに積極的に参加・協力し、三宅島の地域発展に貢献する。また、GAP認証を意識した農産物の生産及び販売活動を推進する。 ・島内の施設設備を活用して、生徒の体力や運動能力を高め部活動の特色化を図る。（バレーボール、柔道、ボルダリング） ・学校開放・公開講座・ボランティア活動・図書的一般貸し出し等により、地域貢献を推進する。
	④	<ul style="list-style-type: none"> ・三宅島の伝統文化、環境保全、地域資源を活用した総合的探究の学習を実施し、生徒の実践的な学びを深めさせる。 ・都立園芸高校との姉妹校交流、晃華学園高校との交流事業とおして、生徒の社会性や豊かな人間性を育ませる。
	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で必要とされる基本的なマナー（挨拶励行・身だしなみ・時間厳守等）を身に付け、規範意識を向上させる。自尊感情を高められるように外部機関の方の講演等を実施する。 ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室等の行事を通して、情報モラルの習得、生活安全に関する教育を行い、生徒が被・加害者にならないように努める。 ・いじめの未然防止指導を徹底し、いじめに対しては早期発見に努め、早期対応の指導を行う。 ・「TOKYOACTIVE PLAN for students」に基づいて体力向上を図り、心身の健康づくりを一層推進する。 ・健康に関する講話、保健だよりの発行、掲示等を行い、健康に関する知識と意識を高める。
	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・全生徒が、在学中に英語検定、漢字検定又は数学検定準2級以上を受験し、合格を目指す。 ・資格取得を指導を計画的に行い、情報に関する検定、農業技術検定3級、被服製作・食物調理技術検定3級を受験し、合格を目指す。

方策	⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習活動を活かした地域貢献活動や地域における探究活動を推進する。 ・伊ヶ谷老人クラブ、三宅村商工会女性部との連携を図り、花壇植栽を実施する。 ・三宅島保・小・中学校との連携を図り、食材の提供、農業実習を行い、本校理解を高める。 ・一貫教育推進委員会を活用し、教員の授業力向上、生徒の学力向上の方策を充実させる。 ・中学生とその保護者対象の学校説明会・体験授業、部活動交流、中高合同検定試験の実施等により中学校との連携を推進する。 ・小中高合同持久走大会、保小中高合同音楽会に向けた準備を計画的に行い、実施する。 ・保健相談・特別支援教育情報交換会を定期的に行い、生徒の支援・自立に向けた指導を図る。
	⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・島しょ総合防災訓練(三宅島開催)や三宅村合同防災訓練に参加し、有事に備えた組織的対応力を身に付けさせる。 ・自然災害及び不審者対策に備え、年間4回の避難訓練、地域との連携訓練を組織的・計画的に実施し、危機管理意識を醸成する。また、登下校時・校外学習時等における防災意識を醸成する。 ・施設設備の再点検を行い、効果的な整備計画を作成する。 ・防災用品備蓄倉庫の整備及び防災用品の充実を図る。
	⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ未然防止指導を徹底する。日頃から複数の教職員の目で生徒の状況を観察して、異変に気づいたらすぐに報告する組織体制をつくる。 ・体罰、不適切指導はしない。また、体罰、不適切指導が起きないように校内研修会を行う。
	⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・海外派遣研修外部人材を活用した講演会等を計画、実施する。 ・海外学校間交流校の指定を受け、海外の高校との生徒間の交流を実現する。 ・国際交流事業を推進するため、三宅村、三宅小・中学校との連携をより強化する ・大韓民国「ホビョン高校」との姉妹校締結を行い、国際交流の推進を図る。
	⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会を定期的に開催し、情報共有を行い、多様な生徒へ適性な支援を行う。 ・スクールカウンセラーと連携した特別支援教育や個別指導の充実を図り、生徒の支援を行う。 ・生徒が気軽に相談できる雰囲気作りを進める。 ・担任面接等を通して、教育相談活動を充実させ、生徒の心の安定を図る。 ・配慮や支援が必要な生徒に対して、個に応じた取組を組織的に行う。 ・通級指導は、全ての教員が指導できるように校内研修や体制を組織的に構築するとともに関係機関との連携を図る。
	⑫	<p>(1) 職員のライフワークバランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月当たりの時間外在校時間が45時間を超える教職員をゼロにする。 ・夏期休暇取得率100%、年休取得クリア15日、トライ20日を目指す。 ・誰もが働きやすいといえる環境を目指し、互いのコミュニケーション力を高める。 <p>(2) 教職員としての「プロ」意識をもち、資質向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職層に応じた職責を果たし、「生徒が主語」になる学校となるよう、自身の能力を高める。 ・三宅高校で働く仲間全員が、「生徒のため」「保護者のため」「地域のため」に何ができるのかを考え、帰属意識を高める。 ・クリーンデスクの徹底、ペーパーレス、ICT活用を通じた業務削減、服務事故ゼロを継続する。 <p>(3) 経営企画室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習環境や条件を良好な状態に維持できるよう、自律経営推進予算の効果的な執行、施設設備の適正な管理を行う。 ・学校徴収金等の納入を適切に管理し、延滞者や未納者をゼロにする。 ・経営企画室内の各分掌、各委員会の連絡を密にし、組織的な課題解決力を強化する。 <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の改築、改修、特別支援教育の校内体制を強化するため、定期的に委員会を開催し、組織的に取り組む。 ・定期的な校内研修を実施し、個人情報紛失事故の根絶等法令を遵守し、服務事故を起こさない。 ・教職員が互いを尊重し、ハラスメントのない職場作りを進める。

4 数値目標

項目	数値目標	R7	R6	R5
1 学力を伸ばすための指導がなされているか 肯定意見	100%	97%	89%	91%
2 学校生活の満足度 肯定意見	100%	93%	84%	77%
3 朝学習の取り組み 肯定意見	100%	68%	43%	46%
4 各種検定資格取得	50%以上	45%	48%	23%
5 三宅村小・中学校との連携が図られているか 肯定意見	90%以上	90%	79%	83%
6 希望進路の実績	100%	100%	100%	100%
7 進路決定満足度	100%			
8 部活動や行事満足度	100%	86%	78%	79%
9 健康安全に対する指導満足度	100%	97%	94%	94%
10 保護者・地域への情報発信	95%以上	90%	78%	85%
11 施設・設備への取組	90%	67%	72%	71%